



佐織中だより

～ 多様な「幸せ」実現 ～

愛西市立佐織中学校

第32号

令和6年1月26日

(発行者) 佐古 達哉

♪「第2回 学校保健委員会」を開催しました

18日(木)の2・3時間目に実施をした「2年生 思春期講座」に合わせて、希望される保護者の方にもご参加いただき、「第2回 学校保健委員会」を開催しました。本校の保健主事を務める堀先生と養護教諭の大城先生が中心となって準備を進め、令和3年度から3年連続で、いなべ総合病院・産婦人科医の川村真奈美先生をお招きして、2年生生徒は、1年時の保健体育の授業や、今年の秋に赤ちゃんを教室に迎えて行った「いのちの授業」に続けて、「性」に関する学びを深めました。講師の先生の思いあふれるお話、そして授業後半には学年の先生方が登場してのロールプレイもあり、2年生のみんなが本当に集中して学ぶ姿に、お越しいただいた講師の先生も本当に感心されていました。



今回の授業は、「性教育は人権教育」という考えに基づき、学校の授業ではなかなか扱えない「セックスとは？」というところから学ぶことに始まり、LGBTQ+やデートDV、さらには「政治」に関することまで、幅広く話をしていただき、学校・家庭の教育で「きちんと教えなさそうな事柄」について、本当に丁寧に教えていただける内容でした。性別などに関係なく、全ての生徒が同じ内容を学ぶことで、性に関するさまざまな問題を「自分ごと」として受け止めるとともに、周りにいる「他者」にも思いを巡らせやすくなる貴重な時間となったことが、子どもたちや保護者の授業後の感想からも伝わってきました。その一部を以下に掲載します。

【生徒の感想より】

- 日本は性の多様性について遅れているということを改めて実感しました。私自身は、男と女なんていう区切りはどうでもよくて、その間にある大きな壁なんてなくてもいいじゃないかと思っているので、男女の格差は一刻も早くなくなってほしいと思います。体の違いはあれど、気持ちの違いはあれど、みんな同じ人なのだから、みんな平等で人権を持ってもいいんだと思える社会になったらいいなと思います。
- 今まであまり分かっていなかったことや知識が、分かりやすく説明されていて勉強になりました。そしてピルなどが月経痛にも使えるということを知らなかったのも、他のことについても調べて、知らないことを減らしていきたいと思いました。また多様性についても知っているようで知らなかったり、知らないうちや無意識のうちに人権を守っていないことをしてしまったりしているかも、と思ったので、これから生活するなかで気をつけて生活していこうと思いました。あと紙しばいや劇で見せてもらったことが身近に起こった時、力になれるように今日学んだことを忘れないようにしようと思いました。

- 「人権=その人がその人らしく自由に生きる権利」ということを強調されていて、人権を大事にして、やりたいことをやって後悔のない人生を送ろうと感じました。子宮頸がんのワクチンは打っていませんでしたが、お話を聞いたり、体験談を読ませてもらったりして怖くなったので、15歳までに打とうと思います。日本は周りに比べ性の事について遅れていると知り、私が大人になる頃にはいい世界になっていればいいなと思いました。
- 性の曖昧な知識は自分の生涯を壊してしまうことに繋がることを知り、正しい知識をもつことがとても大事なことだと分かりました。自分を守るためにも、今回学ぶことができたデートDVや性犯罪に気を付けようと思いました。男女の体や性、同性愛など、考え方・感じ方はみんな違って、一人一人の「人権」を尊重して生活していこうと思いました。
- なかなか人に聞けない「性」についての問題を分かりやすく教えてくださったおかげで、初めて知ることが沢山ありました。避妊具の存在は知っていましたが失敗率が想像以上に多く、とても驚きました。今回の講座を聞いて、自分の心とからだを大切にしようと思いました。
- 私がまだ、知らないことがあったので、とても勉強になりました。今日の学びを生かして、生きていきたいと思います。特に心に残っていることは、「権利」の話や「デートDV」についてです。私は、「権利」のことをあまり知らなかったので、「なるほどな」と思うことがありました。そして、「デートDV」では、両方の人が許可をださないと、「キス」や「ハグ」をしてはいけないと初めて知りました。だから、将来私が「デートDV」にあってしまったら、誰かに相談をしようと思います。

【参加した保護者の感想より】

- とても勉強になりました。大人になっても知らない事もあり、「ピル」などにあまり深い知識が無いことが分かりました。
- 家庭・授業では教えない事を先生から聞いたことは、自分にとっても子どもたちにとっても、とても良い事だと思いました。
- 「性の問題＝人権に関わる問題」という事について、とても分かりやすく伝わりました。連日子どもへの性暴力のニュースを聞き、心が痛みます。また、災害時など性被害のニュース記事を読み、非常時に気をつける点なども中高生が知ると良いと思いました。
- デリケートなテーマですが、スッパリ・ズバズバと、分かり易い内容でした。少数の保護者が開くのはもったいないです。

本校では、1年生の保健体育の授業を体育科教諭と養護教諭が一緒に行い、そこで「性」に関する学びの第一歩を踏み出し（今年の1年生は来週、この授業をやるそうです）、2年生では赤ちゃんを迎える「いのちの授業」と、今回の「思春期講座」、そして3年生でも産婦人科の先生をお迎えして「3年 思春期講座」で「性感染症」「がん教育」といった内容を含めつつ、3年間で系統的に「性」や「いのち」について学びを深めるよう計画的・重点的に実践をしています。

人が生きていく上で、誰もが無関係ではられない「性」と、この時期にきちんと向き合い、「性」に関する知識・理解を正しく深めることで、素敵な大人へと成長していってくれることを心から願い、今後も実践を継続していきます。ぜひ、各ご家庭でも、今回の「学校だより」をきっかけに、お子様と「性」について話す時間や場を設けていただけたらと思います。